上高津貝塚新聞

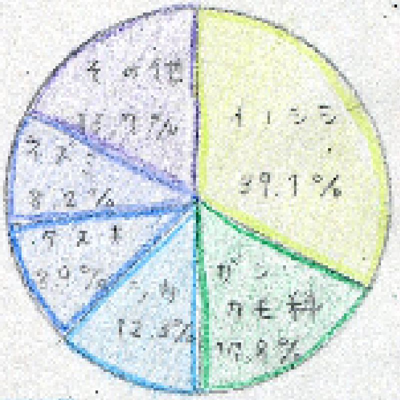
発行日 4**月**16**日**

発行者 [redacted]

縄文時代に上高津貝塚の人々は何を食べていたの？

まず今の人々の主食はお米、パン、めん類などの炭水化物です。だけど、縄文時代の主食は「ドングリ」です。もちろんそのまま食べません。食べ方は、まずドングリのからをとります。次に中身の粉がでてきます。それを、ねって１つにまとめます。そして、葉で包みあたためます。そして完成です。それは縄文クッキーと読んだそうです。そして、縄文時代は動物を狩りに行き、とっていました。主に食べられていた動物は右の通りです。

縄文時代に食べられていた動物



どんな家に住んでいたの？

縄文時代の家は１軒で3・4人の家族が住んでいました。家は竪穴住居といいます。中は温かく、玄関は南向きです。なぜ南向きなのかというと、南風が入って温かいからです。北側が玄関だと、北風がふいてさむいです。そして屋根の上の方にも風が通りぬける穴があります。その穴は、家の中で火をたくのでその時に出るけむりを外に出すための穴です。

上高津貝塚のまわりにはどんな木が生えていたか

縄文時代の上高津貝塚のまわりにはたくさんの木が生えていました。それは、ヨシ、クヌギ、ケヤキ、ブナ、ニレ、カエデ、コナラ（ドングリ）、トチノキ、カシ、スギなどの16種類です。

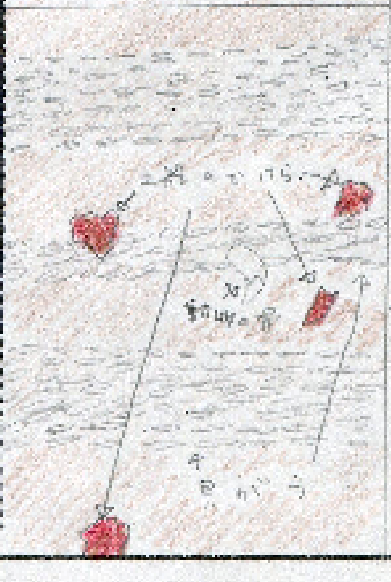
豆知識

縄文時代、この土浦第一小学校があるところは海にしずんでいました！他にも、上高津貝塚だけでなく、「小松貝塚」というところもありました。

最終的に上高津貝塚ってどんなところ？

上の記事だけでは上高津貝塚がどのようなところだったのかわからないと思います。上高津貝塚は、最終的に、縄文時代の人たちが中身を食べた貝（貝がら）の捨てる場所です。貝塚の断面を見ると、貝から土器のかけら、動物の骨まで見つかりました。

貝塚の断面図


土器のかけら
動物の骨
貝がら

後記

私は、縄文時代の土浦がどんなところだったかがよくわかりました。狩りをして、動物を食べたりしていたことや、一番びっくりしたことが、海にしずんでいたということです。